



2020横浜スポーツ学術会議

多様な人々が共に生きる世界をめざして：体育・健康・スポーツ科学の貢献

The 2020 Yokohama Sport Conference

**Contributing to
a Sustainable World**

September 8-12, 2020

Pacifico Yokohama
Yokohama city, Japan

www.yokohama2020.jp



主催・後援

主催 2020横浜スポーツ学術会議 推進委員会

会長 **阿江 通良** JAASPEHS 代表・日本体育大学
深代 千之 JSPEHSS 会長・東京大学

主管 2020横浜スポーツ学術会議 組織委員会

組織委員長 **來田 享子** JAASPEHS 副代表、JSPEHSS副会長、
日本学術会議分科会幹事

協力 International Council of Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

後援 文部科学省（またはスポーツ庁）、日本スポーツ振興センター（JSC）、
日本スポーツ協会（JSPO）、日本障がい者スポーツ協会（JPSA）など ※予定・依頼中を含む

日程

	午前	午後	夕方／夜
9月8日(火)		受付開始 開会式・基調講演	歓迎レセプション
9月9日(水)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	
9月10日(木)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	
9月11日(金)	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター）	学際テーマセッション シンポジウム 一般発表（口頭、ポスター） 閉会式	ガラディナー
9月12日(土)		エクスカージョン 一般公開企画	

会議使用言語 英語（一部日本語）

会議の意義と開催目的

オリンピックの年に4年ごとに大規模な国際スポーツ科学会議が開催されるようになったのは、1964年東京オリンピックの時が最初であると言われています。2020年に再び東京でオリンピック・パラリンピックが開かれるこの機に、国際スポーツ科学・体育協議会（英:International Council of Sport Science and Physical Education, 略称:ICSSPE）の協力のもと、日本でこの歴史を継承する国際会議を開催し、当該分野と人間社会への発展に大きく貢献することを目指して、本会議は開催されます。

ICSSPEは身体活動やレクリエーション・スポーツの科学的研究を促進するために設立された国際機関です。1958年、パリにおいて国際スポーツ・体育協議会（ICSPE）として発足し、1982年に現名称となりました。ICSSPEには現在、約230のスポーツ・体育・スポーツ科学関係の国際・国内団体が加盟し、ユネスコ、国際オリンピック委員会（IOC）、世界保健機構（WHO）、国際体力医学会（FIMS）等とも密接な協力関係のもとで活動しています。ICSSPEは数百万人を数える当該分野の世界最大のネットワークをもって、学際的な協力関係を創造し、調査研究・教育・健全なスポーツ活動の提唱を通して人間社会の発展に寄与しています。

国際会議の開催が珍しくなくなった今日でも、本会議のような体育・身体活動・スポーツに関係する多分野・多業種の専門家が一堂に会し共同して、複雑化した社会における諸課題の解決の糸口を探り、将来を展望することは、大変ユニークで貴重な機会となります。

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町2
TEL: 03-3263-8695 / FAX: 03-3263-8693 / E-mail: yokohama2020-cl@c-linkage.co.jp